



20代 男性 Aさんのコロナ体験談(R4.11)

(同居家族が陽性・医療機関を受診後、自宅療養を行ったケース)

① 感染が判明した経緯は。

最初に同居の妻が陽性になり、3日後に 39 度台の発熱がありましたが、検査では陰性でした。その後も発熱は続き、発症から 3 日後の検査で陽性となりました。

(妻が陽性⇒3日後も発熱(陰性)⇒発熱から3日後に陽性)

② 感染が判明したときの心境は？

妻が先に発症していたため、驚きはなかったです。今まで感染していなかったので、「ついにかかったか」といった感じでした。薬も持っており、コロナに対する知識も多少あるつもりでしたが、未知の病に対する不安が少しあり、怖く感じました。

③ どのような症状が表れましたか？

発症日から 3 日間は 38 度台の発熱が続きました。(市販の解熱薬を飲むと一時的に平熱になりました)。咳・咽頭痛・鼻汁はあったが、そこまでひどくはなかったです。

④ 感染した原因に思い当たることはありますか？

同居家族からの感染だと思えます。妻が発症してからはできるだけ分離して生活するよう注意していましたが、マンションの間取り的に完全に分離することは難しかったです。

⑤ 療養期間をどのように過ごしましたか？(有効な分離方法、防止対策 等)

1LDK だったため、リビングと寝室で部屋を分けて過ごしました。ただ、トイレやキッチン、お風呂に行くにはリビングを経由する必要がある間取りであるため、結果的にうまく分離できず、同居家族が陽性となってしまいました。

⑥ 療養中困ったことはありますか？

料理する元気はなく、冷凍食品を食べることが多かったため、食生活により体調が悪くなることがありました(便秘・下痢等)。

妻の療養中は妊娠している可能性があったため、市販の解熱薬が飲めず、医療機関を受診するまでの間は高熱で我慢するしかない状態だったことが困りました。

⑦ 療養期間を終えた今の体調(後遺症がある)や気持ちは？

療養解除後も多少咳が出ます。また、鼻づまりのせいか、嗅覚・味覚があまりすぐれないです。後遺症がいつまで続くのか不安になるときがあります。

⑧ 自分の経験からお伝えしたいことは？

症状自体はあまりひどくはないですが、後遺症があるのが普通の風邪とは違い、しんどいと感じました。解熱剤を飲むと飲まないとは、全く違いました。私が使用したのは市販の解熱剤なので、普段から常備しておくとういと思います。

また、感染する前に陽性者登録センター等の情報を知っておけたので、慌てずに済みました。感染に備えて情報収集を行うとういと思います。